

向日市 広報

まちのうごき (6月1日現在) (5月中)
世帯数 16,226世帯 生れた人 55人
人口 51,115人 亡くなった人 12人
男 25,229人 転入した人 213人
女 25,886人 転出した人 258人

市民ぐるみで青少年の健全育成を!

話し合う 家庭に育つ 明るい子



- ◆ 最近の少年非行の増加に対処して昨年に引続き、本年も七月に「青少年を非行から守る全国強調週間」が展開されることになり、これに伴い京都においても府民運動の実施となり、当乙訓地域においても関係機関、団体、地域住民が一体となって非行防止のための諸活動を有機的に連携し、共通の理解と認識のもとに集中的に展開して実をあげることを目指しています。

少年非行の特徴 単純な遊び型が増加

今や少年非行は戦後第三の年による非行の増加や非行の、しかも最大のピークを迎えています。
例えば、昨年一年間に殺人・暴行・詐欺・窃盗などの罪を犯した主要刑法犯少年は、二十四万二千七百二十九人を数え、これまで最高だった昭和三十九年の十九万五千二百六十九人をはるかに上回っています。つまり、一日当たり六百六十五人も少年が主要刑法犯で検挙されているのです。
また、最近の少年非行の特徴として、低年齢層の少年が増えているのが目立ちます。

年が増えている(中・高校生が全体の半数以上を占める)。
◎非行に走る家出少年が急増し、最近では女子が男子を上回っている。
◎万引きや自転車・オートバイ盗などのいわゆる「遊び型非行」が増加している。

少年を非行から守る府民運動乙訓地区大会が、七月一日午後一時三十分から長岡京市産業文化会館で開催され、向日市から少年補導委員会をはじめ、関係機関が参加します。

少年を非行から守る府民運動 7月1日～31日
少年の非行を防止するため、今年も七月一日から三十一日までの一か月間、少年を非行から守る府民運動が、府下一せいに展開されます。

非行の防止(3)校内粗暴集団暴走族集団などの暴力非行防止(4)少年をめぐる社会環境の浄化の四点を重点目標にかかげ、少年補導委員、警察、青少年会などがいっしょになって、地域ぐるみで展開してまいります。

みんなの手で非行防止の徹底を 向日市少年補導委員会

向日市少年補導委員会は、「少年を対象とする諸機関および団体と協力して、少年補導の実をあげ、少年の健全な育成に寄与すること」を目的として、青少年の健全育成を願って、活動している委員会です。
委員会は、会長民秋市長をはじめ、本部・各支部合わせて84名の委員で構成されています。
◆その活動は
向日市少年補導委員会を中心に社会教育関係団体と連

けいを取り、市民とともに青少年の健全育成を願って活動しています。なかでも、特に力を入れて活動しているのが「少年を非行から守る運動」です。毎年7月1日から31日までを運動期間として重点的に街頭でのビラ配布や各支部委員協力のもとに、夏休みの補導を中心に活動します。
少年補導委員会と各家庭との連携で非行防止の徹底を図りましょう。



別補導人員は、昨年の同時期と比べると五十三人も増加となっています。
その中でも、粗暴犯、窃盗の増加が目立っています。(表I)

表I 行為別補導人員
凶悪犯 粗暴犯 窃盗 その他 計
昭57.1月～5月 1 10 86 48 145
昭56.1月～5月 0 2 74 16 92

表II 学職別補導人員
小学生 中学生 高校生 大学生 その他 有職 無職 計
昭57.1月～5月 8 98 23 0 0 13 3 145
昭56.1月～5月 7 62 11 1 0 8 3 92

表III 窃盗犯の口別・学職別の補導人員
口別 侵入 オートバイ 自転車 車上り 万引き 盗み出し 自取 計
学職別
小学生 2 1 1 4
中学生 3 16 2 30 1 1 53 8
高校生 9 11 1 21 1
有職 1 3 1 2 7
無職 1 1 1
計 5 30 3 43 3 1 1 86 9
昭56・同期 3 25 3 34 5 1 3 74 10